

2019 年度西原村地域農業再生協議会水田フル活用ビジョン

1 地域の作物作付の現状、地域が抱える課題

西原村地域は、阿蘇外輪山の西斜面に位置した準農村地域で、中山間地域の地形を活かし、甘藷、里芋といった野菜や、果樹、畜産、米等、各地域で多様な農業生産活動が行われている。しかし近年、高齢化や後継者の不足により、農家戸数と作付面積の減少がみられる。また、主要作物である里芋・甘藷については、価格の年次による変動が顕著となっている。また、平成 28 年 4 月に発生した熊本地震により、ため池や農業用水路・農地等が被災し、復旧に全力をあげて取り組んでいる状況である。

2 作物ごとの取組方針等

村内の水田（不作付地を含む）について、適地適作を基本として、産地交付金を有効に活用しながら、野菜、特に里芋を転作作物の主体として位置づけ、作物生産の維持・拡大を図ることとする。

(1) 主食用米

主食用米については、一戸当たりの水田所有面積が小さく、自家消費用の農家が大半を占めており、産地化は難しい現状であるが、消費者及び実需者に年間を通じて安定した供給が行えるよう、今後も生産者へ協力を求め、需要に応じた生産を推進していく。また、平成 28 年度の熊本地震で農地やダムが被災したことにより、作付面積が大幅に減少していたが、予定されている復旧工事が完了すれば震災前の作付面積まで増加する見込みである。

(2) 非主食用米

ア 飼料用米

飼料用米、米粉用米、新市場開拓用米、加工用米、備蓄米に関しては、作付がない状況である。

今後状況に応じて生産に向けた取組について検討を行っていく予定。

イ WCS 用稲

平成 22 年から平成 27 年にかけて、畜産農家を中心に自給粗飼料の確保の観点から、作付が拡大していたが、熊本地震の影響により、一時作付面積が減少した。しかし、農地の復旧と共に作付面積は再び拡大傾向にあるため、産地交付金を活用し、農家と畜産農家で連携した資源循環の取組も推進し、今後も生産性の高い畜産経営に努め、経営コストの低減を図る。

(3) 麦、大豆、飼料作物

麦に関しては、西原村地域では作付がなく、生産に向けた取組について今後検討を行っていく。大豆に関しては現行の制度を活用し、作付面積の確保及び拡大を図る。飼料作物については、一部の農家（主に畜産農家）では、水田を

利用し、年間を通して、イタリアンライグラスなどの飼料作物の作付を行っている。また、熊本地震後は水が供給できない水田に基幹作として作付が拡大している。農家と畜産農家で連携した資源循環の取組や担い手による二毛作の取組についても推進し、今後も、現行の制度を活かし、飼料作物の作付面積の拡大を図る。

(4) そば、なたね

そば、なたねについては作付がなく、今後は生産に向けた取組の検討を行うべく予定。

(5) 高収益作物（園芸作物等）

転作水田においては、振興作物である里芋を中心に JA・直売所向けの野菜等が作付けされている。小規模の水田において、これら作物が耕作放棄地の発生の防止等に大きな役割を果たしている。

なお、特に振興を図っている「里芋」については重点品目に位置付け産地交付金を活用し、作付拡大を推進する。

その他野菜についても同様に作付面積の維持・拡大を推進する。

3 作物ごとの作付予定面積

作物	前年度の作付面積 (ha)	当年度の作付予定面積 (ha)	2020年度の作付目標面積 (ha)
主食用米	79.50ha 414.99t	85.0ha 443.70 t	100.00ha 522.00 t
WCS用稲	35.69ha	37.00ha	40.00ha
大豆	1.07ha	2.50ha	2.50ha
飼料作物	41.48ha	42.00ha	43.00ha
その他地域振興作物	50.70ha	55.20ha	56.20ha
・里芋	14.55ha	17.00ha	17.50ha
・その他野菜	34.97ha	35.80ha	36.30ha
・雑穀	1.18ha	1.20ha	1.20ha

※主食用米の目標値（2019、2020年度）において使用した単収は 522kg/10a

4 課題解決に向けた取組及び目標

整理 番号	対象作物	用途名	目標	前年度（実績）	目標値
				2018年度	2020年度
1	里芋（基幹）	重点品目作付（里芋） への助成	作付面積	14.55ha	17.50ha
2	飼料作物（二毛作）	飼料作物二毛作への 助成（二毛作）	作付面積	27.95ha	(24.00ha) 28.50ha
			水田利用率	69%	70%
3	飼料作物 （基幹作・二毛作）	資源循環への助成 （耕畜連携）（基幹・ 二毛作）	取組面積	8.60ha	14.00ha
			実施率	11%	20%
4	野菜及び雑穀 （基幹作）	地域振興作物への助 成（基幹）	作付面積	36.15ha	37.50ha

※ 必要に応じて、面積に加え、取組によって得られるコスト低減効果等についても目標設定してください。

※ 目標期間は3年以内としてください。（目標値の上段括弧書きは変更前の数字。）